

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	トモダス深阪教室		
○保護者評価実施期間	令和7年9月5日		～ 令和7年9月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和7年10月6日		～ 令和7年10月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児や保護者の方々との信頼関係を大切に、強い絆を築いているところ	画一的な対応にとどまらず、状況に応じて柔軟に対応することを心がけており、事業所として可能な限りの支援を心がけている	支援会議やミーティングのみでは十分に共有しきれない情報についても、職員同士で積極的に連携を図り、日々の支援の質をより高めていけるよう努めて行く
2	アセスメントツールを活用して、社会生活能力の向上を目指した支援を、設立当初から継続的に実践している	客観的な評価と個別支援計画の精度向上のため、アセスメントツールとして「S-M社会能力検査」を導入し、5領域「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」に基づいた支援を行っている	5領域に対応した支援プログラムを充実させ、より質の高い支援を目指す
3	保護者への活動時の状況報告については、きめ細やかな対応を心がけている	日々の活動の中で気になる点や小さな変化、また何らかの問題が生じた場合には、速やかに保護者へご連絡を差し上げている	全ての利用児に万遍なく良質な支援が行き届くように、職員間での観察・記録の徹底に加え、保護者との密な連携を一層意識し、共に児童の成長を支えていけるよう努めて行く

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	前回の調査時と同じく、各種マニュアルなどの整備や避難訓練を実施している事が保護者に広く認知できていない	懇談時に閲覧可能だと伝えているが、保護者に対してマニュアル類を整備していることを、しっかりと発信できていない。また、閲覧して頂ける体制ができていない。避難訓練に関して、毎月配布している活動予定表に明記はしているが、当日の参加者以外は実施している事が分かりにくいと思われる	保護者アンケート結果による改善として、すべての保護者に対して書面にて、整備済みであることと、いつでも閲覧して頂けること、避難訓練の実施状況をフィードバックする
2	保護者会や父兄の会などの保護者間の交流の機会を提供できていない	過去に保護者会を開催したことがあるが、まったく参加者が集まらず、それ以降は尻込みをしてしまい、実施できていない	12月のクリスマス会と、5月の参観日(トモダスカフェ)をリニューアルして、保護者、きょうだいの参加を促して、まずは、保護者同士の交流を促進する
3	地域や他のこどもとの交流活動が活発にできていない	公園などで地域の方との触れ合いなどの機会はあるが、外出行事やイベントは原則的に利用者様向けに行っているため、積極的な交流ができていない。	まずは5月のイベント時に地域の方にも来て頂けるように告知を行い、地域に開かれた事業所を目指してゆく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 トモダス深阪教室

公表日 R7年10月20日

利用児童数 20

回収数 15

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	3		1	全体のスペースは狭いが、うまく部屋分けされていて、不足はしていない	今後も、スペースの有効活用を意識して支援活動を行う
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15				いつも多い	今後も、職員を積極的に配置し、手厚い支援と安全・安心を目指す
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	1				
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	7	1	1	4	自身の障がい特性を受容する過程において、本人が望んでいない（見られたくない）	各利用児童の意思を尊重しながら、交流活動への参加を促す
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	2		4		事業者側で改善する
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	14	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	1				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	7	2		4		事業者側で改善する
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	1		1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1		4		事業者側で改善する周知ができていない
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1		5		事業者側で改善する周知ができていない
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12			3		事業者側で改善する周知ができていない
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15					
	29	事業所の支援に満足していますか。	15					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		トモダス深阪教室		公表日		R7年10月20日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		5	2
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		7		児童発達支援管理責任者1名 保育士6名 児童指導員2名 あい・さかいサポートリーダーの配置		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		4	3	トイレの手すりを設置済。 入り口段差のすべり止めを設置済	書類置き場が不足しているため、個人情報に関わらない書類は事務所奥に保管 入り口とトイレにすべり止めを設置する物が増えているので隙間まで掃除が行き届いていない部分がある 使わなくなった材料などを処分する	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		5	2			
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5	2	状況に応じてカーテンを使用している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		6		参画している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		7		年に1回、全利用者様へアンケート用紙を配布。アンケート結果を職員が会議で共有し、評価シートを作成、公表済	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6		コミュニケーションを密に取るようにしている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			5		第三者委員の設置など、将来目標とする
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		7		虐待防止研修を実施。 強度行動障害支援者養成研修の受講を推奨。	あいさきサポート受講者を増やし、更なる資質の向上を目指す
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		6		作成、公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		7		保護者懇談を実施し、意向確認をしている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		7		支援会議の開催と申し送りを実施している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		6		共有と実施はできている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		6		アセスメントツール「S-M社会生活能力検査第3版」を活用している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		7		設定できている	ガイドラインを定期的に読み合わせを行う
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		7		常勤、非常勤に関係なく参加している 参加できない職員には意見を聞いている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		4	3	可能な限り新しい情報収集をしている	長年活動をしていると一部マンネリ化している部分がある。12月より変更予定

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	出勤日数が少ない職員に対しても共有できるようにグループトークを用いている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		共有をしている 重要なことは全員にグループトークで共有をしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		活動後に記録をしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7		行っている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		行っている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		原則的に児童発達支援管理責任者が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	6	保育、教育機関とは関りができていない 各基幹支援とは随時協力できている	医療支援を必要とする利用児がいない為、協力医療機関との連携体制はできているが、機会は皆無である
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		できている	学校によって強弱があるので、こちらから質問などを投げかけるなど行う
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		6		新入生として利用開始となった児童が皆無の為、関りがあまりない 必要時には情報共有を依頼する
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		問い合わせがあれば、積極的に行っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		もず園、つばみ園からご連絡があればご協力をしている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3		地域のイベントへの参加を検討する
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5		堺市障害者自立支援協議会には参加していない。放課後連絡会には参加している
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		保護者との情報共有には力を入れている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6		家族支援プログラムを講師として職員が提供できるように研修に参加する
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明を行っている 外出行事などにより実費が発生する場合は、事前周知をしている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1	保護者には懇談時に意思を確認している 児童には可能な限りやりたい事にチャレンジをしてもらっている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		同意を得えている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		年に2回の懇談会を設けている 相談があれば、優先して対応している	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		7	ゴールデンウィークにトモダスカフェとして、保護者様に来所頂いている	今年度12月のクリスマス会 来年度5月のトモダスカフェ 上記を保護者・きょうだいの交流の場としてイベント内容をリニューアルする
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		迅速に対応するように心がけている 必要な場合は来所をして頂き、別室にて個別対応を実施している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		情報発信はSNSで実施中 行事予定表を毎月1回、配布中	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		鍵付き保管庫に保管	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		相手の状態に応じて配慮をしている 意思表示カード ルビ文字説明書など	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		数名の方には立ち寄って頂いたりしているが、招待は行っていない。 保護者交流の次に目標達成する
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各種マニュアルを整備済。 保護者からのご希望があればご来所頂き、閲覧をして頂けるようにしている。	保護者への周知不足の為、保護者へ施設としての取り組み状況を案内する
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		BCP（事業継続計画）を策定済。 年2回の避難訓練を計画・実施。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		確認している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	保護者より医師の指示を情報共有していただき対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		外出行事前に危険性などの事前確認等を行い実施している	保護者への周知不足の為、保護者へ施設としての取り組み状況を案内する
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットファイルや口頭などで共有している。	ヒヤリハットを遅滞なく記録すること。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		委員会を設置し、研修を実施している 全職員に周知できるようにオンライン講習を導入している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		契約時、計画見直し時などに必要な場合は保護者に対して説明をしている。	現在の所、身体拘束を必要とする利用児童は在籍していない	